

まちづくり懇談会議事録

日 時：平成 27 年 12 月 3 日（木） 18：30～19：46

場 所：南部公民館（2 階）集会室

出席者：10 人

1. 開会

2. 町長挨拶

3. 懇談事項

- (1) 継立中学校の利活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・経営企画課
- (2) 南部公民館の備品・・・・・・・・・・・・・・・・・・教育委員会
- (3) 野良猫対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・建設水道課
- (4) 公共施設などの杭打ち工事のデータ確認・・・・・・・・建設水道課
- (5) 高校生のスクールバス乗車・・・・・・・・・・建設水道課

4. 説明事項

- (1) 道央廃棄物処理組合への加入報告などについて（資料 1）・・環境政策課
- (2) 街路灯の LED 化について（資料 2）・・・・・・・・・・住民生活課
- (3) 防犯対策について（資料 3）・・・・・・・・・・住民生活課
- (4) 社会保障・税番号制度「マイナンバー」について（資料 4）・・・総務課

5. その他

6. 閉会

《懇談事項に関する質疑応答》

質問：スクールバスの対象は小中学生に限るとのことだが、高校生は乗れないのか。法律で決まっているのか、それとも町が独自に定めているのか。

教育委員会：小中学校は町の教育委員会、高校は道の教育委員会が管理するということになっているので、今のところ町教育委員会でスクールバスに高校生を乗車する予定はない。

質問：運用を少し変えれば乗る事ができるのか。継立地区在住の中高生の部活動加入促進のため、協力してもらうことはできないのか。

教育委員会：僻地に関わる小中学校限定の補助金でスクールバスを購入しているため難しい。

要望：言ってる事は理解できるが、部活動参加支援と父母の送迎負担の軽減のため、町として何とかならないか。

副町長：スクールバス混乗については、購入したバスの制限条件などを再度確認して、返答させていただきたい。

《説明事項に関する質疑応答》

質問：マイナンバーの個人番号カード取得の必要性がよくわからない。スマートフォンで簡単にできるとあるが、子どもは持っているが、私は持っていないので、写真を撮ったり、郵送したりお金も手間もかかる。

総務課：これまでさまざまな申請の際に住民票などを添付する必要があったが、そういった手間がなくなるものもある。違う窓口でそれぞれ手数料を払って、必要書類を集めて回るといったことが少なくなる。

住民生活課：添付写真は証明写真でなくても構わない。最近6カ月以内に撮影したもので、既定のサイズならば問題ない。

意見：家族全員取得に行くのは面倒だし、番号通知カードで番号はわかる。特段必要がなければ今のところ取得しなくてもいいのかなと考えている。

総務課：番号通知カードは紙製で、保管しにくく、紛失してしまうリスクもある。マイナンバーの用途はこれから広がっていくので、早めの個人番号カードの取得をお願いしたい。申請も今は無料だが、今後の事は決まっていないので、有料になる可能性もある。お子さんがスマートフォンをお持ちであれば、撮影してもらうことで写真代もかからないので、取得をお願いしたい。

要望：日出地区は町内でも過疎、高齢化が進行している。新規就農者が一人入ったが、後継者がいる農家は1件で、年々空き家が増えている。何とか南部を明るくする振興策はないか。

町長：毎年の懇談会でそういった意見をいただいている。町としても新規就農、企業誘致、移住などで日出地区を検討してもらう場所の1つとして紹介している。

産業振興課：日出地区は、高齢化率が60%を超え、空き家も目立ち、耕作放棄地もあるが、今年4月から新規就農者が入り明るい話題となっていると思う。現在、新規就農者やさまざまな企業が農家の土地を求めて町に訪れており、日出地区も候補地として見学してもらっている。農業分野の振興対策として、うまく話がまとまっていけるよう、支援していきたい。

意見：日出は産炭地域で昔は栄えたが、閉山とともに衰退していった。農家50戸も高齢化がすすみ、市街地には4~5年で誰もいなくなってしまうのではないかと心配している。

町長：人口減少は栗山町全体はもちろん、道、国としての課題となっている。日出地区には新規就農と企業参入で力を入れている。企業誘致の成果としては、炭鉱の採掘がはじまった。農業関係でも興味をもった企業がいくつかあった。町としては今後も誘致活動を展開していく。

意見：日出の炭鉱に入るダンプの往来で、道路ががたがたになってしまっている。少しずつ補修はしてもらっているが、追いついていない。また、大型車が多いので車もすれ違えない。

町長：道路については毎年出てくる問題であり、大型車は以前より多くなっている。対応は都度しているが、なおも状態が悪いということなので、担当より経過などの説明を行う。

建設水道課：ご指摘の道路は簡易舗装を全線行った経緯がある。その後、修繕が必要な箇所を対応してきた。再度全線舗装となると莫大な費用が掛かることから、全体的な道路見直しの中で検討させていただきたい。大型車両との交差が難しいという点については、すれ違いのための待避所を今年5カ所設置したので、ご活用いただきたい。

町長：すぐに道路を全面舗装というわけにもいかないが、いろいろな手段を講じ、対応する。

質問：新規就農者はとても苦勞している。冬の仕事の紹介など、何か支援策はないのか。

産業振興課：支援は助成金なども含めて、手厚く行っている。就農の前から相談を受けており、今年の決算の振り返りをともに行うなど、今後も支えていく。

質問：最近5年間の新卒採用は何人か。また、栗山高校の生徒の積極的採用を検討してみてもどうか。

町長：財政状況が厳しい中、全体の職員数を減らしてきた。しかし、若い職員がいなくなってきたため、ここ数年は年1人程度のペースを守り、採用してきた。しかし採用の枠が少ないため、社会人経験者などの採用が続いている。昔のように毎年多くの採用があれば、栗校の生徒もとることができるが、現状難しいところもある。将来的には高卒の枠も確保していきたい。

要望：継立小には野球部しかない。子どもたちにとってはとても貴重なもの。存続のため、継立小には野球を指導できる先生を必ず1人残してほしい。

教育長：できる限り対応していきたい。

(19:46 終了)